

三二講義

	大学		短大	
	発達教育学部 発達支援教育学科	保健医療学部 理学療法学科	福祉学科 地域介護福祉専攻	福祉学科 児童障害福祉専攻
担当者	野口 芳宏 教授	宮坂 智哉 准教授	古川 繁子 教授	漆澤 恭子 教授
テーマ	ことばの重み、ことばの面白さ	障害者のコミュニケーションを支援する	高齢者のコラージュ療法	どの子も楽しい毎日であるように ～発達障害心理学演習～
内容	言葉ほど重宝なものはありません。そして言葉ほど怖いものはありません。身近な言葉や文字を取り上げながら、言葉と文字の持つ力について暫くの時間をみなさんと共に楽しみましょう！	障害を持った方と介護者とのコミュニケーション支援のあり方について、事例を挙げながらともに考えてみましょう。	コラージュ療法の効果や意義を体験して学びます。特に高齢者が楽しみながらできるよう、高齢者の特性を考えたボックスコラージュも体験してみます。	学校、幼稚園、保育所などが楽しいのは、いろいろな友だちがいるからです。障がいのある子ども達への支援が、まわりのみんなにも、その子にも、特別なことでなく空気のようにまわりに満ちて、自然に行われる…そんなクラスをつくれたいなと願ってこの授業を行っています。みなさんも、ちょっとのぞいてみてください。
担当者	桑田 良子 教授	齋藤 基一郎 教授		黒田 静江 講師
テーマ	いろいろな子どもたち	ヒトの心・行動・障害・疾病を理解できる医療人養成をめざして		あそび歌を楽しもう！
内容	いま、学校現場では個性ある子どもたちがたくさんいます。そういった子どもたちの理解と支援を「見る」「読む」に焦点をあてて考えてみたいと思います。	脳の働きによって生ずるヒトの心と行動の関係を神経解剖学の伝導路に関連づけてお話します。		あそび歌は、動きをイメージする歌詞と簡単なメロディーからできています。からだを動かしながら歌うことで、友たちや保育者と共感することができたり、子どもが自発的にいろいろな遊び方を発案したりして楽しむことができます。保育現場で使われているあそび歌を体験し、いろいろなことを感じあってみませんか。